

みずほCustomer Desk Report 2017/07/24 号(As of 2017/07/21)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.04 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.90	1.1628	130.11	0.9514	1.2967	0.7947
SYD-NY High	112.08	1.1683	130.50	0.9522	1.3020	0.7958
SYD-NY Low	111.01	1.1619	129.50	0.9439	1.2955	0.7875
NY 5:00 PM	111.15	1.1664	129.61	0.9460	1.2995	0.7914
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.735/8.16		△25RR	1.158	Yen Call Over	
NY DOW	21,580.07	▲31.71	債券市場	日本2年債	-0.1180	▲1.1bp
NASDAQ	6,387.75	▲2.25		日本10年債	0.0670	▲1.1bp
S&P	2,472.54	▲0.91		米国2年債	1.3402	▲1.2bp
日経平均	20,099.75	▲44.84		米国5年債	1.8031	▲1.5bp
TOPIX	1,629.99	▲3.02		米国10年債	2.2375	▲2.1bp
シカゴ日経先物	20,005.00	▲105.00		独10年債	0.5060	▲2.4bp
ロンドンFT	7,452.91	▲34.96		英10年債	1.1750	▲3.0bp
DAX	12,240.06	▲207.19		豪10年債	2.6980	▲3.9bp
ハンセン指数	26,706.09	▲34.12	為替市況	USD/CNH	6.7571	0.0010
上海総合	3,237.98	▲6.88		ドルインデックス	93.86	▲0.45
USDJPY 3M Vol	8.56	▲0.00%	商品市況	CRB指数	176.661	▲1.74
USDJPY 6M Vol	8.96	0.11%		NY金	1,261.00	8.90
EURJPY 3M Vol	9.31	▲0.07%		WTI	45.77	▲1.15
EURJPY 6M Vol	9.71	0.06%		Dubai Spot	48.15	▲0.18

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月21日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	21:30	加 CPI(前月比/前年比)	5月 -0.1%/1.0%	-0.1%/1.1%

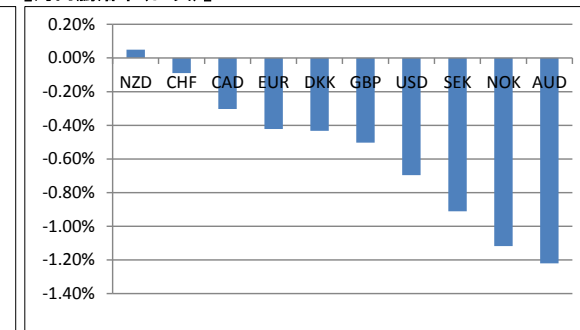
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月24日	16:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	7月 59.2/54.3/56.3	59.6/54.0/56.4
	17:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	7月 57.2/55.4/56.2	57.4/55.4/56.3
	22:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	7月 52.2/54.0/-	52.0/54.2/53.0
	23:00	米 中古住宅販売件数	6月 5.57M	5.62M

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-112.00	1.1550-1.1750	128.00-130.00

【マーケット・インプレッション】

前週金曜のドル円相場はドル売り優勢の展開。20日のECB理事会でドラギ総裁が足許のユーロ高につき懸念を示さなかったことを受けてユーロ買い・ドル売りの流れが優勢となる中、米株式市場の下落も相俟って対円でもドルが大きく売られ、ドル円は111円付近まで下落、安値での越過となった。トランプ大統領の目玉政策の一つであったオバマケアの見直しが頓挫したこと等、トランプ政権に関する先行き不透明感は根強く、積極的にドルを買っていく地合ではないと思われる一方で今週はFOMCというリスクイベントを控えていることから、ドル円相場は下値リスクはあるものの値動きは限られるだろう。

東京	東京時間のドル円は111.90レベルでオープン。ロシアゲート問題に関するトランプ米大統領に対する捜査範囲が同氏のビジネスまで拡大するとの報道にドル円は前日から上値の重い推移が続く展開。仲値にかけて本邦実需勢によるドル買い需要も散見される中、ドル円は112.08まで上昇するも、上値を積極的に追う展開とはならず、その後は112円ちょうどを挟んでの揉み合う展開。引けにかけては、前日から堅調推移が続くユーロドルが前日高値圏を試す展開にユーロ買いドル売りが進み、相対的にドルが売られる中でドル円はじりじり下値を切り下げる格好に111.72まで下落。結局111.75レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は下落する展開。111.75レベルでオープン。米国におけるオバマケア代替法案の議会審議の遅れや、前日のトランプ米大統領のロシアゲート問題を巡る捜査範囲の拡大報道を受けたトランプ政権の先行き不透明感、そしてユーロ相場が堅調推移する中で対ユーロドル売り優勢試合が続く。ドル円は6月26日以来の安値となる111.43を付ける展開。その後も下値を探りながら結局111.55レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは動意薄となった。1.2998レベルでオープン。6月の公的部門純借入額は630億ポンド(予想420億ポンド、前回は600億ポンドから640億ポンドへ修正)と予想を大幅に上回った赤字幅となるも、全般的なドル売りや対ユーロでの調整のポンドの買戻しに高値となる1.3020を付け、結局1.2998レベルでニューヨークに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	前日の「ロシアゲート問題についてモラー捜査官トランプ氏のビジネスまで調査範囲拡大」との報道を背景としたドル売りの流れを引き継ぎ、海外時間のドル円は高値112.08から111.43まで下落し111.55レベルでNYオープン。米株が寄り付き大幅安となる中、「スパイサー米大統領報道官が辞任し、ホワイトハウスはアンソニー・スカムッチ氏を広報部長に起用した」との報道を受けて一段とトランプ政権に対する不透明感が強まり、米金利の低下と共にドル円は続落。OPEC加盟国の生産増加懸念からWTI原油が大幅に下落する動きも相俟って、ドル円はこの日の安値となる111.01まで下落。この水準ではドル買い意欲も強く、週末前に111円を割り込むには至らなかったが、ドル買い材料に欠く中でその後も上値の重い推移が続く。結局111.15レベルでクロスした。なお、日中はトランプ大統領、モラー特別捜査官の捜査拡大に備え弁護士団を刷新」との報道が伝わったが、市場への影響は限定的となった。一方ユーロドルは前日のECB理事会後から底堅い推移が続く。1.1642レベルでNYオープン。トランプ政権に対する不透明感が強まり、米金利低下と共にドル売りが強まったこととユーロドルは高値1.1683まで上昇。その後も1.16台後半での底堅い推移が続く。結局1.1664レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:末木・鶴田